

プラズマ・核融合学会英文誌 Plasma and Fusion Research (PFR) の 論文公開方針及び掲載料の一部改訂のお知らせ

2026年5月および6月開催の編集委員会及び理事会において、英文誌 Plasma and Fusion Research (PFR) における投稿規定、論文公開方針及び掲載料の一部改訂について議論し、下記のように一部改訂することといたしましたので、お知らせします。

2026年6月5日
プラズマ・核融合学会 会長 花田磨砂也

1. アクセプト論文の早期公開制度の導入

2年前の2024年6月以降にPFRに投稿された論文から、学会ホームページでのPDFファイルでの公開と、J-STAGEではPDFファイルに加え、HTML版も公開していますが、それ以前と比べて出版作業に時間がかかっており、著者の皆様にはご迷惑をおかけしております。この状況を改善するため、2026年7月1日以降に投稿された論文につきまして、アクセプト後、著者最終稿にDOI (Digital Object Identifier) を付与してJ-STAGEにおいて早期公開することにします。付与されるDOIは、最終出版版と同じものとなります。これにより、アクセプト後数日で論文を公開することが可能となります。その公開作業に必要な費用を著者にご負担いただくため、論文掲載料を改正させていただきます。なお、すでに投稿された論文の内、2026年8月1日以降にアクセプトされたものから、著者の希望により、著者最終稿を早期公開することが可能です。ただし、早期公開に必要な費用をご負担いただくこととなります。これに伴い、TeXのスタイルファイルも一部変更となりますので、TeXをご利用の方は、新しいスタイルファイルを学会ホームページ内のPFRのページのSample Filesのページから取得してお使いください。
なお、学会ホームページでは、これまで通り、最終版のPDFファイルを公開します。

2. 論文掲載料の改定

上記の通り、論文掲載料に早期出版にかかる費用を追加して、以下のように入改定します。なお、ページチャージに変更はありません。

論文掲載料：(現行) 30,000円 → (改定後) 33,000円 (税別)
(2026年7月1日以降投稿論文から適用)

早期出版費用：3,000円 (税別) (それ以前に投稿され、2026年8月1日以降アクセプトされた論文で、著者の希望により早期公開するための費用)

3. 投稿規定の一部改正

PFRは、出版論文を公開し、だれでも読めるようにしていますが、論文の二次利用に関する規定が明確でないこととされ、PFRを掲載しているJ-STAGEにおいては、「Open Access Journal」ではなく、「Free Journal」の扱いとなっています。これを名実ともに「Open Access Journal」とするために、以下に示すように投稿規定を一部改訂します。

論文の二次利用等に関してCCライセンスを導入し、これまでと同様の取り扱いであるCC BY-NC-ND (論文の出典を明らかにすることで二次利用可、改変不可、商用利用不可)とします。ただし、著者の希望により、CC BY (論文の出典を明らかにして二次利用可、改変可、商用利用可)を選択することもできます。なお、著作権はこれまでと同じく学会にあります。

CCライセンスは、2026年7月1日投稿以降適用し、Copyright Transfer Agreement提出時に、どちらのライセンスにするか選択していただきます。なお、これ以前に投稿された論文に対しては、2026年8月1日以降アクセプトされた論文から、CCライセンスを適用させていただきますので、Copyright Transfer Agreementを再度提出していただくことになります。

以上ご理解いただき、より一層、皆様の研究成果発表にPFRをご利用ください。